

2022/4/15 (金) 2022 年地区研修・協議会@埼玉会館、埼玉共済会館、埼玉教育会館

【臨時号】

2022 年地区研修・協議会報告

会長 平井利和 / 幹事 山崎真之介
広報・クラブ会報委員長 中山 晋

◆会長部会 会長エレクト 山崎真之介

3年振りのリアル開催に、全員起立で両隣と肘タッチで喜びを分かち合い、次年度にかけるメッセージと共に細淵ガバナーエレクトの熱い想いからスタートしました。

部会会場はコロナ感染状況から近隣3拠点に散らばった開催、天候悪い中でも参加いただいたクラブメンバーには御礼申し上げます。

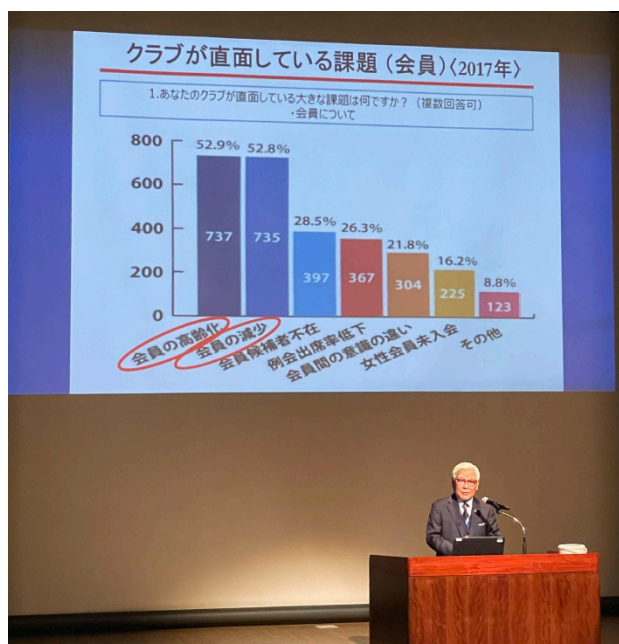
さて会長部会は、ガバナー補佐、会長、幹事の合同部会でした。

北パストガバナーによる「ロータリーはクラブが主役」という講演では、データを用いてクラブが直面している課題のまとめ、それを乗り越えるためのクラブビジョン・戦略計画の内容や制作、取り組み状況、その効果、RI規模で取り組む戦略計画の紹介がありました。

次にRI ロータリーカード 日本第2地域コーディネーターの関様から「ロータリーカード」についての紹介がありました。

ロータリアンだけが持てる個人や法人用クレジットカードで、決済に利用するとクレカ会社が売上の一部がポリオワクチンに充てられるものだそうです。

またクラブ単位で作れるカードがダイナースであるということで、これを用いてRI人等分担金などの支払いをすることで少なからず貢献できるようです。同じ支出でより良い取り組みが



できるのであれば、採用しても良さそうです。折を見て理事会議題に上げたいと思います。

いずれの公演もスクリーン画像を撮ってききましたので参考資料として添付させていただきます。

◆幹事部会 次年度幹事 嶋田悟志

今回は会長幹事共同の部会となりました。

幹事部会では現在地区幹事の三富さんより貴重スピーチがありました。まず三富さんからは立候補した幹事がどのくらいいるか挙手を求められましたが案の定一人もいませんでした。どのクラブも事情は変わらないと感じました。そうは言っても幹事になる以上楽しんで幹事を行なって下さいとのことでした。

そして前年中里年度地区幹事のモーニングRC

木戸さんから「幹事の役割」のスピーチがありました。木戸さんが地区幹事をしてきた時の心構えとして、第一に「ガバナーの健康管理」、第二に「2000時間奉仕する」、第三に「黒子に徹する」と地区幹事が代々受け継がれているとのことでしたが、クラブ幹事に置き換えると、第一に「会長の健康管理」、第二に「ルールの遵守と遅延なき遂行」、第三に「黒子に徹する」となるのではとお話がありました。特に会長の健康管理と言うところでは、山崎会長の心身の健康管理と会社の健康管理もフォローしていきたいと思っています。後は舞台の裏方として決して出しゃばらず、会長の神輿を担ぐようお話がありました。私も当日地区副幹事として地区に出向しておりましたが、当時の木戸さんは地区幹事の役割を確かに全うしていたと思います。私も黒子に徹し業務を遂行したいと思います。

◆管理運営部会 次年度部門長 中山 晉

細瀬ガバナーエレクトは、管理運営部門について、クラブの活性化のための円滑な運営を主な目的とします。そして地区戦略計画の実行の向け、年度の行動計画の立案にDEIを積極的に取り入れることを推奨しています。

次年度の管理運営部門は、「クラブの活性化委員会」「RLI運営委員会」「規定審議会検討委員会」で構成されます。この中で「規定審議会検討委員会」は新しい委員会です。

岡村部門委員長は、この部門は、クラブの機能を充実させるため、クラブ内で会員が取るべき行動に関するものすべてを充実させる部門です。

〈クラブ活性化委員会〉クラブに戦略委員会を設置して、クラブビジョンと戦略計画を作成し、実現に向けての具体案を提案する。

〈RLI運営委員会〉前年度に作成した、地区の内

規に従い、DLの選定、DLの研修、RLIの実施を行います。DLは、クラブより、部門委員長経験者やRLI3回修了者を7月中に推薦する。

〈規定審議会検討委員会〉新に設置された委員会です。毎年開催される決議審会(COR)の理解を深めるための周知とクラブ決議案を提出するための支援をすることを目的とした委員会です。

【DEI推進委員会】

管理運営部門、会員増強維持部門、公共イメージ部門とIT委員会の3つの部門と1つの委員会で協力して、クラブの活性化を推進する。その結果を各クラブのDEI推進の具体案として提案させます。

DEIの爽やかな風を

2770地区は、高潔性というロータリーの価値観に従いDEIを推進し、学び向上し続けていくことに真摯に取り組みます。

D Diversity (ダイバーシティ 多様性)

E Equity (エキュイティ 公平)

I Inclusion (インクルージョン 包括的)

ここで問題なのは、2770地区、74クラブで、会員数10人以下のクラブが8クラブ、20人以下が21クラブあります。この合わせて、29のクラブが地区の組織図で、部門が7部門 委員会が28委員会もある、その委員会から、それぞれ目標を出されても対応が出来ないと思います。

管理運営部門セミナーでも、出てきた部門が、3部門、委員会が5委員会ありました。これだけあると当クラブでも対応が難しいと思います。

まして、DEIの精神で活動と言われても、正直なにをやるのか想像もつきません。

国際ロータリーの次期、会長の方針なのでし

ようが、何の前触れもなく、いきなり、DEI の精神で考えなさいでは、クラブは混乱するだけです。

もう少し、丁寧な導入をお願いします。

◆公共イメージ部会 次年度委員長 高野好勝

2022-2023 年度国際ロータリーのテーマは『イマジンロータリー』となりました。

イマジンとは想像することですが、未来を思い描くとの意味が込められているそうです。年代的にはビートルズのジョンレノンの作品を思い浮かべます。次年度 RI 会長は初めての女性 RI 会長となります。

世界中に ポリオのない世界 安全な水を使える世界 疾病のない世界 すべての子供たちが本を読める世界

やさしさ 希望 愛 平和 を想像してください。とても分かりやすい RI のテーマだと思います。

皆様方のお立場でロータリーの未来をイメージしましょう。

RI は七つの重点分野を規定しています。

① 平和の推進 ② 疾病との闘い ③ 水と衛生
④ 教育の支援 ⑤ 母子の健康 ⑥ 地域経済の発展 ⑦ 環境の保護

用語は年代により変化いたしますが ⑦ 環境の保護が SDGS の観点から追加されました。

ウクライナ紛争を経験すると RI の奉仕活動の重要性を鑑みます。

ロータリーの中核的価値観(CORE VALUE)

次に示すことは変化する世界に於いて、ロータリーを定義する普遍的な価値観を示しています。

五つの中核的な価値観で構成されます。

親睦 (FELLOWSHIP) 同志的関係性を重視し協同奉仕を行ないます。

高潔性 (INTEGRITY) 仕事、人間関係に於いて高い倫理性を保ち続ける。

多様性 (DIVERSITY) 言語、文化、職業、生活習慣、年齢の多様性を重んずる。

奉仕 (SERVICE) 社会の役に立つことを奉仕する ロータリーの使命

指導力 (LEADERSHIP) 様々な分野で指導力を発揮できる人を育成する。

以上のことを鑑みながらロータリー活動を運営していくようにしましょう。

◆会員増強維持部会 次年度部門長 岡田 聡

地区全体の委員会として、2つのツールを作成し、会員増強のサポートを行います。

① Invitation card の作成

ハガキサイズぐらいの、招待カードを作成します。

QR コード付きで、分かりやすく、配りやすいカードにします。

そちらを各クラブで活用いただき、会員増強のきっかけのカードとしてお配りください。

②パンフレットの作成

全クラブの同好会を、アンケート・ヒアリング致します。

そちらをまとめたパンフレットを作成します。

ロータリーのつながりや楽しさを伝えるツールとして、各クラブで活用してください。

パンフレットのサイズやページ数などは、集まった同好会の情報量に応じて決めますので、現時点ではお伝えできません。

①と②を、会員増強のツールとして活用くだ

さい。

◆社会奉仕部会 次年度部門長 遠藤英子

ブライダル委員会、地域社会奉仕委員会についてのお話を主に聞いてまいりました。

ブライダル委員会の活動のアンケートの結果内容については、知っているが94%にも関わらず「紹介の予定がない」が63%と極めて厳しい状況であります。

1985年-86年度より活動が始まり次年度で37年目になります。現在まで約140組以上のカップルが成婚いたしております。

仕組みとしましては結婚を望む独身の人達が対象。必ずロータリアンが紹介者となる。紹介者がいる以外に特別な制約はなし。年齢、離婚歴も問わない。

登録カードの提出、またはWEB登録にて会員となる。(登録料2年間5,000円)現在120名ほど在籍しております。

お見合いタイムで一通り自己紹介した後フリータイム。リクエストカード提出でカップリングを行います。

皆様のご理解ご協力をお願い致します。

社会奉仕活動のお話としましては1.何をしたいか?ではなく、何が求められているか?に重点をおく。2.ロータリーは「人づくり」。「モノ」の提供だけでなく「経験」の提供を検討する。3.ロータリーアンみずからが「汗をかく奉仕」クラブ全体で活動を通じて感動を共有というのがポイントであるということでした。

あとは地区補助金大口枠、最大1万ドルの評価基準の説明です。

①社会性②事業性③革新性④プレゼン能力⑤クラブ本気度⑥持続可能性⑦年度のポイント
だそうです。

是非、多くのクラブに地区補助金大口枠にチャレンジしてほしいとのことでした。

◆青少年奉仕部門 次年度部門長 平井利和

地区の次年度青少年奉仕委員会に出向が決まっておりますので、地区ローターアクト委員兼武南クラブ青少年奉仕委員長として分科会に出席してまいりました。

青少年奉仕は、インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換留学生の4つに分類されるわけですが、各委員長は3年連続や他の委員会からのスライドした方が就任しております、やはりコロナの影響により活動できなかったことで経験者が少なく、というよりも経験者は委員長のみとなってしまったそうです。だからこそ各委員長の次年度にかける思いがひしひしと伝わってまいりました。

大貫PG担当諮問委員より基調スピーチ頂きました。

『青少年のために安全な環境を作りこれを維持するよう努める。児童及び青少年の安全を考え、肉体的、性的あるいは精神的な虐待から彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある』と青少年保護についてお話頂きました。

◎インターアクト委員会委員会

足掛け3年に及ぶコロナ禍の影響により、従来の活動を経験することなく卒業していく生徒が少なくありません。今年こそは出来るところから少しでも活動できるように模索していきます。

2770地区の中学校では初のインターアクトクラブの創設を模索しております。さいたま市校

長会に参加し卓話等をさせて頂き、賛同の声を多く頂いております。

韓国3750地区との3年間止まっている交流事業を何とか再開させたく段取りをつけている状況です。

◎ローターアクトクラブ委員会

これまでコロナ禍でもなんとか活動を続けてまいりましたが、今後の活動は難しいと思われまます。それには大学の関係もありまして、授業がリモート主体になっている状況において外で集まる事が出来ず休止状態のクラブもございませす。

従いまして7月から1年間、部門委員長と連携を図りながら、提唱ロータリークラブやローターアクトクラブに対するフォローを強化し、衰退ではなく、発展を目指していきたいと考えております。

◎RYLA委員会

今年度はこれから宮古島にて研修セミナーを開催いたします。

2018-19年度屋久島研修以来活動ができていないので、今年度5月の活動を元に次年度の計画を立てて行きたい。

◎青少年交換委員会

2020年3月より休止しておりました青少年交換プログラムの再開に向けて準備を進めております。

2022-23年度派遣候補生は9名、スポンサークラブは7クラブです。

受け入れに関して少し手続きが変わっています。『エルフス』という外国人入国者の健康状態と居場所を特定するオンライン申請ががございませす。

す。難しい手続きになりますので外部に委託して参ります。

コロナ過で失われた3年間を取り戻すべく、次年度に向けて準備して参ります。

◆ロータリー財団部会 次年度部門長 安藤正明

地区協に財団部門として出席いたしました。

分科会で小林操委員長は、ロータリーの名のもとに行われる重要なプロジェクトの大半はロータリー財団の支援を受けている。

もちろんポリオ根絶活動はロータリーの中心活動だがその他にも地区補助金、グローバル補助金による活動、ロータリー平和センター、大規模プログラム補助金等がある。

小山部門委員からは財団部門は財団への理解を深めてもらう事で、資金となる寄付を集める。

2770地区は5年連続で年次大会基金ゼロクラブゼロを達成している。

次年度地区目標は年次大会寄付が1人200ドル、ポリオプラス50ドル、恒久寄付50人未満のクラブでは1,000ドル1名をお願いしますとの事です(例年と同じ)

ポリオプラス委員会では世界ポリオデーは10月24日(月)ですが、本年度は23日の日曜日に向けてクラブ、あるいはグループにてイベント等を開催お願いしたいとっております。

当クラブでは10月24日までに目標である年次基金200ドル、ポリオプラス50ドルの計250ドルの寄付の100%達成を目指す事を提案いたします。

◆米山記念奨学部会 カウンセラー 小林 元

令和4年4月15日(金)12:40からさいたま共済会館にて米山記念奨学部会が行われました。

○奨学生選考基準

- 日本語での会話が可能か
- 将来性があるか

※家庭状況、経済状況は評価対象外

○世話クラブへの選考基準について

- 地区への割り当ては寄付実績の順位で決定している
- 地区での選考は毎年1月に面接をし、例会場までの通いやすさを検討している
- 世話クラブの申し込み状況と照らし合わせる

○カウンセラーが必ず出席する行事

1 入学式 2 感謝の集い 3 修了式

○カウンセラー期間終了後

- 是非、継続して関係を続けていってほしい

○寄付額の増進を

- 各クラブにおける地区目標の個人平均は「25,000円」
- 川口/鳩ヶ谷武南 RC は達成していない為、今後どのように進めていくか検討が必要。